

2021 年度 北海道サッカーリーグ

第 3 回 道央・道北ブロックリーグ 開催要項

※2021 年シーズンは新型コロナウイルス感染拡大の影響により特例規定を含む。

- 1 主 旨 本大会は、各地区社会人サッカーリーグの代表チームが更に高いレベルと、幅広い活動を目指し、社会人サッカーの発展に寄与することを目的として実施する。
- 2 名 称 2021 年度 北海道サッカーリーグ 第 3 回 道央・道北ブロックリーグ
- 3 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会 北海道社会人サッカー連盟
- 4 主 管 千歳地区サッカー協会 小樽地区サッカー協会 空知地区サッカー協会
旭川地区サッカー協会 北空知地区サッカー協会 千歳地区社会人サッカー連盟
旭川社会人サッカー連盟 千歳サッカー協会 岩見沢サッカー協会
- 5 協 賛 株式会社 モルテン
- 6 開催期日 2021 年 5 月 16 日(日) ～ 8 月 22 日(日)
- 7 会 場 千歳地区 (千歳市臨空公園サッカー場)
小樽地区 (小樽市望洋サッカー・ラグビー場、赤井川村都運動公園サッカー場、
岩内町総合運動公園サッカー場)
空知地区 (岩見沢市岡山スポーツフィールド)
旭川地区 (東光スポーツ公園球技場、忠和公園多目的広場)
北空知地区 (芦別市なまこ山総合運動公園)

8 参加資格

(公財) 日本サッカー協会及び全国社会人サッカー連盟に加盟登録された第 1 種の登録チーム(準加盟を含む)で、次の資格を有するものに限る。

- (1) 本年度、上記の加盟登録手続を完了し、加盟金納入済みのものであること。
- (2) クラブチームは、他の事業体チーム或いは他のクラブチームに二重登録されていないこと。
- (3) 高校在学中の生徒は参加できない。ただし、(公財) 日本サッカー協会にクラブ申請が許可されたチームの選手は除く。
- (4) 外国籍選手の登録は 1 チームにつき 3 名以内とする。但し、「JFA のプロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」の条件に該当する場合は、この 3 名を超えて登録できるものとするが、何れの場合も、外国籍選手の登録人数の総数は、5 名を超えてはならない。(準加盟チームは除く) ※同一試合には、3 名が同時に試合に出場することが出来る。
- (5) 北海道サッカーリーグブロックリーグ決勝大会に出場権を得た場合、必ず出場できるチームであること。

9 リーグ編成

千歳地区 1 チーム、小樽地区 1 チーム、空知地区 1 チーム、旭川地区 2 チーム、北空知地区 1 チームの 6 チーム編成とする。

10 競技規則

- (1) 当該年度 (公財) 日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
- (2) 各チームの登録選手は、(公財) 日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼付けのないものは無効とする。(選手証とは、KICKOFF から出力した、選手証・登録一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。)
- (3) 試合成立の必要人数は、試合開始予定時間において 1 チーム 7 名以上とする。

11 競技方法

- (1) 6 チームによる 2 回戦総当たりとする。
- (2) 競技時間は 90 分とし延長、PK 戦は実施しない。
- (3) ハーフタイムのインターバル：15 分以内
- (4) 交代できる数：5 名
- (5) 交代要員の数：7 名
- (6) ベンチに入ることのできる数：13 名（交代要員 7 名、役員 6 名）

12 参加料

190,000 円（消費税込）

13 選手エントリー

- (1) チームは定められた期日までに選手エントリーを完了させること。
- (2) 選手登録の追加・移籍・削除の手続きはチームが所属する地区協会に行い、その内容が所定の手続きにより本大会事務局で確認された後、出場が認められる。
- (3) 同一選手が同一チームで同一シーズン中に 2 つ以上の背番号で登録することは出来ない。
- (4) 同一チーム内において同一シーズン中に 1 つの背番号で二人以上の選手が登録することは出来ない。

14 ユニフォーム

- (1) ユニフォームに関しては、当該年度の（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規程に従うこと。
- (2) 本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- (3) 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
- (4) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (5) (4)の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (6) シーズン中の番号の変更はできない。

15 組合せ及び日程

- (1) リーグ日程は、主管責任地区が参加各地区との協議の上決定する。
- (2) 試合開始時間、順序は主管責任地区が決定する。

16 順位の決定

次の方法により決定する。

- (1) 勝点（勝ち 3 点・引分 1 点・負け 0 点）
- (2) 全試合のゴールデファレンス（総得点－総失点）
- (3) 全試合の総得点数
- (4) 当該チームの対戦成績
 1. 勝点
 2. 得失点
 3. 総得点数
- (5) 試合を棄権した場合、順位の決定上、対戦相手チームに得点 5 及び勝点 3 を与える。
- (6) 以上により確定することができない場合には、道央・道北ブロックリーグ運営委員会において順位決定する方法を決定する。
- (7) 新型コロナウイルス感染拡大による影響による中断・中止が生じ、各チームの試合数が「6 試合以上」終了している場合は、その時点の成績により 1 位チームを決定する。チームにより終了試合数に差異がある場合は、試合実施順に少ない試合数に合わせる。順位の決定方法は(1)～(6)による。

- (8) 新型コロナウイルス感染拡大による影響による中断・中止が生じ、各チームの試合数が「5 試合以下」となった場合の順位については、道央・道北ブロックリーグ運営委員会で決定する。
- (9) 新型コロナウイルス感染拡大による影響により、一部試合の不成立等、その他の不都合が生じた場合の順位については、道央・道北ブロックリーグ運営委員会で決定する。

17 表 彰

※新型コロナウイルス感染拡大による影響により、リーグの一部中止・中断等が生じた場合、表彰対象及び表彰内容を変更する場合がある。

(1) チーム表彰

優 勝 賞 状：(公財) 北海道サッカー協会及び北海道社会人サッカー連盟

トロフィー：北海道社会人サッカー連盟

第 2 位 賞 状：(公財) 北海道サッカー協会及び北海道社会人サッカー連盟

トロフィー：北海道社会人サッカー連盟

(2) 個人表彰

得点王 トロフィー：北海道社会人サッカー連盟

18 入 替

- (1) 本大会 1 位チームは、当該年度北海道サッカーリーグブロックリーグ決勝大会への出場権を得る。
- (2) 入替戦は別途道央・道北ブロックリーグ運営委員会で決定する。

19 競技審判員

- (1) チーム帯同審判制はとらない。
- (2) 審判資格は主審を 2 級以上、副審を 3 級以上、第 4 の審判員を 4 級以上とする。但し、主審については主管地区協会審判委員長が特に推薦している 3 級審判員が担当することを認める。
- (3) 地区担当者は試合開催日までに主管協会へ審判員の派遣を依頼すること。
- (4) 主審は競技終了後、速やかに審判報告書を会場責任者に提出すること。
- (5) 各審判員への報酬は別に定める。

20 競技記録及び公式記録員

- (1) 本大会の競技記録は別に定める運営当番チームが記録員 2 名以上を配して行う。
- (2) (公財)北海道サッカー協会が認定した公式記録員資格の有無は問わない。
- (3) 運営当番チームは「公式記録記載の知識を有する者」を配置させること。
- (4) 競技記録担当者は、試合開始 40 分前までに本部席に集合し必要な準備を行うこと。
- (5) 公式記録は、試合終了後、ただちに記録内容を確認し、記録用紙両チーム監督、主審及びマッチコミッショナーの署名を求めること。
- (6) 完成した記録用紙は会場の運営責任者へ提出すること。なお、その後の異議・訂正は原則認めない。

21 会場運営

- (1) 会場準備・後片付け及び試合運営は、ホームチーム運営委員の下にホームチームが責任をもって行うこと。
- (2) ホームチーム運営委員は、会場準備・後片付け及び試合運営に関する事項について、事前に主管地区のサッカー協会及び責任地区連盟と打ち合わせを行う。
- (3) 会場の準備は、試合開始予定の 90 分前から行い、試合開始予定時間の 30 分前までに終了すること。又、後片付けは、試合終了後速やかに行い、30 分以内を目途に終了すること。
- (4) 会場準備・後片付け及び試合運営に必要な業務は次のとおりとする。

- ①本部テント・審判員テントの設営・机及び椅子の配置、チーム用ベンチの設置。
- ②ピッチのライン引き・ゴール、コーナーフラッグ、第4審判員席の設置。
- ③審判員用の飲料水及びタオル等の準備。
- ④使用機材の準備・撤収・試合会場内・外のゴミ等の回収。

22 懲 罰

本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため大会規律委員会を設置する。本大会規律委員会は道央・道北ブロックリーグ運営委員会内に置く。

(1) 警告・退場の処置

- ① 警告は累積3で1試合の出場停止とし、退場処分を受けた選手は自動的に本大会における直近の試合での出場停止処分を受ける。その後の処置については、本大会の規律委員会が決定する。
- ② 警告の累積による公式試合の出場停止処分は、本大会のみに適用されるものとし、他大会に影響しない。
- ③ ①の退場処分による出場停止が本大会において消化しきれなかった場合、残存の出場停止処分は、当該出場停止処分を受けたチームまたは処分対象者が出場する直近の公式試合において、その処分を消化するものとする。

(2) 棄権チームの処置

- ① 試合を棄権した場合、その後の処置については、本大会規律委員会が決定する。
- ② 棄権の理由が新型コロナウイルス感染拡大の影響によると判断される場合については、懲罰の対象とならない。

(3) 本要項に違反した場合、その後の処置は本大会規律委員会の裁定に拠る。

(4) 試合中又はその前後に悪質な言動があった場合、その後の処置は本大会規律委員会の裁定に拠る。

(5) 大会期間中又はその前後において本大会の秩序を乱すような悪質な言動があった場合、その後の処置は本大会規律委員会の裁定に拠る。

23 マッチコミッショナー

(1) 本大会は、各会場の各試合にマッチコミッショナーを配置する。

(2) マッチコミッショナーは試合開始 60 分前にマッチコーディネーションミーティングを行い、試合に臨む両チームの監督と意見交換を行い、スムーズに試合が行われるよう確認を行う事。

(3) マッチコミッショナーは、試合開催(試合中を含む)におけるトラブル等が発生した場合、道央・道北ブロックリーグ運営委員会に対し、速やかに「マッチコミッショナー緊急報告書」を提出すること。

24 その他

(1) 新型コロナウイルス感染拡大による影響により、本要項上不都合な事態が生じた場合の対応については、道央・道北ブロックリーグ運営委員会の決定に従うこと。

(2) 大会前・大会期間中・大会後に渡り、新型コロナウイルス感染拡大に対する特別な措置が取られる場合はそれに従うこと。

(3) チームの監督は、各試合とも必ずベンチに入ることを義務づける。ただし、やむを得ずベンチ入りができない場合、チーム役員が監督代理を行うことができる。この場合事前に道央・道北ブロックリーグ運営委員会に届け出て許可を受けなければ成らない。緊急の事態により、事前の許可を得られなかった場合は、会場責任者に速やかに事情を説明し指示に従うこと。尚、緊急の事態の経緯等を書面にて道央・道北ブロックリーグ運営委員会宛へ提出すること。

(4) 監督がその任を永きにわたって履行できない場合、道央・道北ブロックリーグ運営委員会に申し出し、指示を受けること。

- (5) チーム監督あるいは助監督が選手を兼ねる場合は、事前に登録された役員をベンチ入りさせること。
- (6) 監督の代理をできる者は、事前に登録された役員 6 名以内の中から行うこと。
- (7) 上記(1)～(4) に違反した場合の処分に関しては本大会規律委員会において決定する。
- (8) 納入された参加料は原則として返却しない。
- (9) シーズン途中のチーム名称及び登録地の変更は認めない。
- (10) 試合場への移動、及び試合中などの事故防止については各チームの責任において徹底すること。また傷害保険等の加入もチームの責任において行うこと。
- (11) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には、本大会主管地区責任者、マッチコミッショナー、審判団において協議のうえ対処する。その場合、中断・中止・延期する事があるので留意のこと。

25 附 則

- (1) 本大会を円滑に運営するために「道央・道北ブロックリーグ運営委員会」及び事務局を置く。
- (2) 道央・道北ブロックリーグ運営委員会規程は別に定める。

以 上